



2021年3月期 決算説明会資料

ゲオホールディングス(2681)

GEO HOLDINGS CORPORATION

May. 17, 2021



本資料の記載内容

- 1 グループ概要
- 2 2021年3月期 連結業績
- 3 2021年3月期 商材別実績
- 4 ゲオグループの取組み
- 5 2022年3月期業績予想・配当
- 6 補足資料

グループ概要

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

・ 社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・ 会社設立	1989年（平成元年）1月
・ 本社	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・ 代表取締役	遠藤 結蔵
・ 資本金	89億75百万円*
・ 株式上場市場	東京証券取引所 第一部

*2021年3月31日現在

1

ゲオグループの主なショップと取扱い商材

	リユース						レンタル		新品			店舗数 (2021年3月 末時点)
	衣料 服飾 雑貨	ブラン ド品	生活 家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	携帯 電話 スマー トフォ ン	AV家電 PC	DVD ブルー レイ	BOOK CD	衣料 服飾 雑貨	AV家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	
ゲオショップ ゲオモバイルショップ  	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,167
セカンドストリートショップ 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	726
OKURA TOKYO (おお蔵) 	●	● (時計 バッグ)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15
Luck・Rack 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

1

ゲオグループ

当社が提供するサービス・商品を多くのお客様に知っていただき、販売・買取、レンタル(シェアリング)の実店舗とオンライン環境との境目をなくしていきます。



2021年3月期連結業績

2

2021年3月期：連結損益計算書

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための消費者の外出自粛が続くなかで、新品ゲーム関連商品の販売が堅調に推移しました結果、売上高は増加しましたが、売上総利益率の低下と出店費用等販管費の増加並びに減損損失を1,932百万円計上したことにより営業利益・経常利益・当期純利益は、前期を大きく下回る結果となりました。

単位：百万円	20.3月期 通期実績	21.3月期 通期実績	増減	前期比
売上高	305,057	328,358	23,301	107.6%
売上総利益	123,800	125,223	1,423	101.1%
(売上総利益率)	40.6%	38.1%		
販管費	113,778	120,911	7,133	106.3%
営業利益	10,022	4,311	▲5,710	43.0%
(営業利益率)	3.3%	1.3%		
経常利益	10,765	4,795	▲5,969	44.5%
当期純利益	3,844	▲752	▲4,596	—

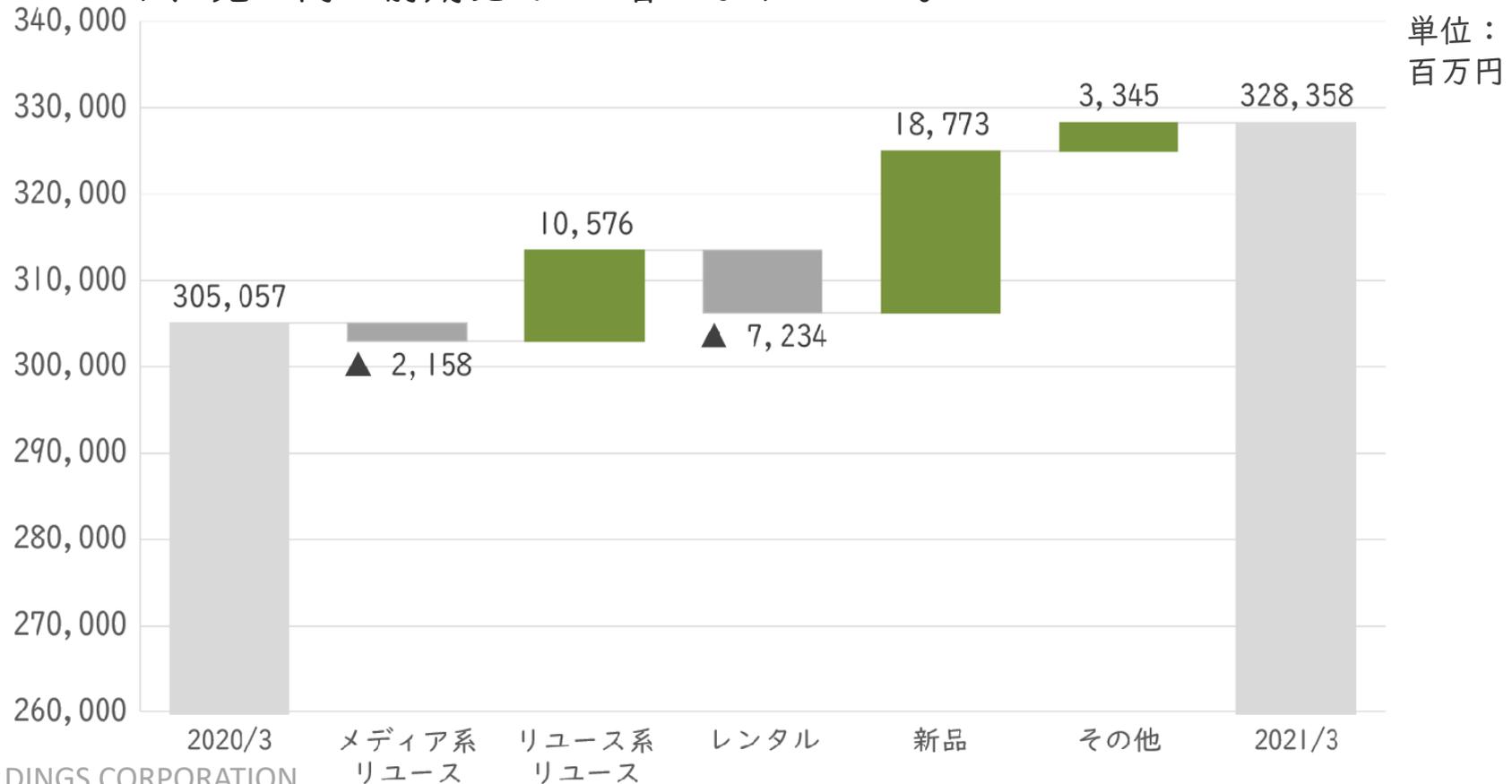
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

2

売上高前期比増減

- ・ゲームを中心とした新品販売好調が続いたことにより増収

コロナ禍での新作不足もありレンタル売上トレンドは下降幅を拡げ、メディア系リユース商材売上もゲーム機本体の在庫不足から低調な推移となりました。一方、ゲーム機本体を中心とした新品商材の好調は鈍化傾向にあるも期中を通じて継続したことにより、売上高は前期比7.6%増となりました。

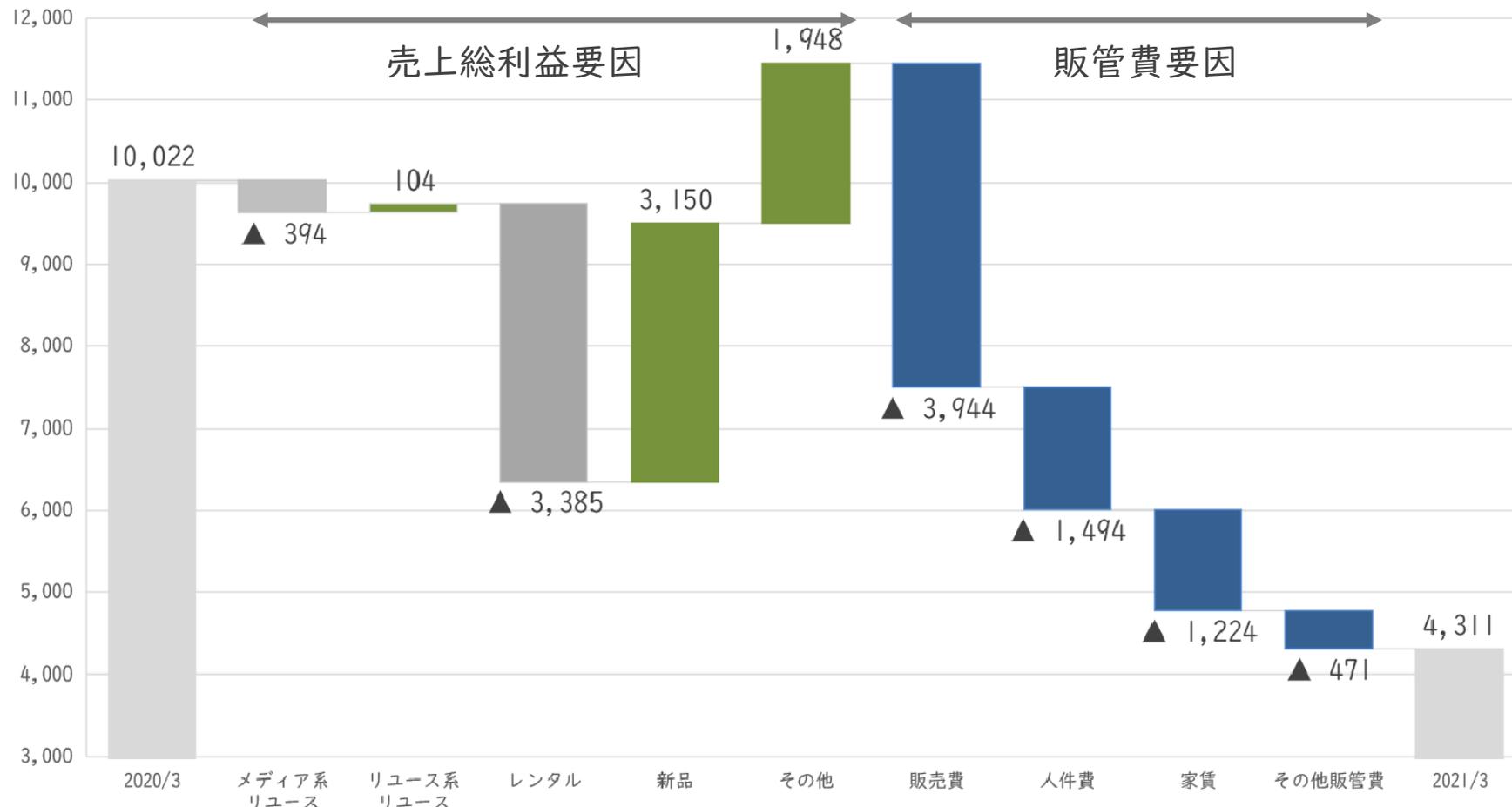


2

営業利益 前期比増減

レンタルの縮小が進む中、新品商材の販売好調により売上総利益は、前期比1.1%増加いたしました。販売管理費の増加がこれを上回り、営業利益は前期比43.0%と減益となりました。

単位：百万円



2

販売管理費

販売費は、キャッシュレス決済の増加により販売手数料が増加し、テレビ・WEB広告などの積極的プロモーション活動を行いましたことから広告宣伝費も増加いたしました。また人件費・地代家賃につきましてもセカンドストリートを中心とした出店を続けていることから増加しております。

単位：百万円	20.3月期		21.3月期		増減	(前期比)
	通期実績	(売上比)	通期実績	(売上比)		
販売費計	10,697	3.5%	14,641	4.5%	3,944	136.9%
広告宣伝費	3,572	1.2%	6,016	1.8%	2,443	168.4%
販売促進費	483	0.2%	642	0.2%	159	132.9%
販売手数料	2,979	1.0%	4,113	1.3%	1,133	138.0%
人件費計	56,822	18.6%	58,316	17.8%	1,494	102.6%
その他諸経費計	46,257	15.2%	47,953	14.6%	1,695	103.7%
水道光熱費	3,862	1.3%	3,608	1.1%	▲254	93.4%
地代家賃	22,988	7.5%	24,213	7.4%	1,224	105.3%
減価償却費	4,318	1.4%	4,614	1.4%	295	106.8%
備品消耗品費	2,332	0.8%	2,659	0.8%	327	114.0%
修繕費	796	0.3%	655	0.2%	▲141	82.3%
販管費計	113,778	37.3%	120,911	36.8%	7,133	106.3%

2021年3月期 商材別実績

・新品ゲーム商材売上は好調持続

市場収縮が続いておりますレンタルは、第1四半期に巣ごもりの特需が発生いたしました。通年においては売上下降幅を拡げることになりました。またメディア系リユースでは、ゲームソフトの販売は巣ごもり需要もあり堅調に推移しましたが、ゲーム機本体は在庫不足により低調な推移となり、メディア系リユース商材全体の売上としては前期比96.1%と減少いたしました。

単位：百万円	20.3月期 通期実績	21.3月期 通期実績	前期比	増減額
リユース	122,317	130,735	106.9%	8,418
メディア系	56,048	53,889	96.1%	▲2,158
リユース系	66,269	76,845	116.0%	10,576
レンタル	57,962	50,727	87.5%	▲7,234
新品	84,129	102,902	122.3%	18,773
その他	40,648	43,994	108.2%	3,345
合計	305,057	328,358	107.6%	23,301

・新品ゲーム商材売上好調により売上総利益を確保

ゲーム商材を中心とした新品販売の好調により、低迷したレンタルとリユースの粗利減少を補う形となりました。しかしながらレンタル商材やリユース商材の粗利率は新品商材より高いものであり、新品商材の売上構成比が上昇したことにより、売上高の増加率と比べ、売上総利益の増加率は低くなりました。

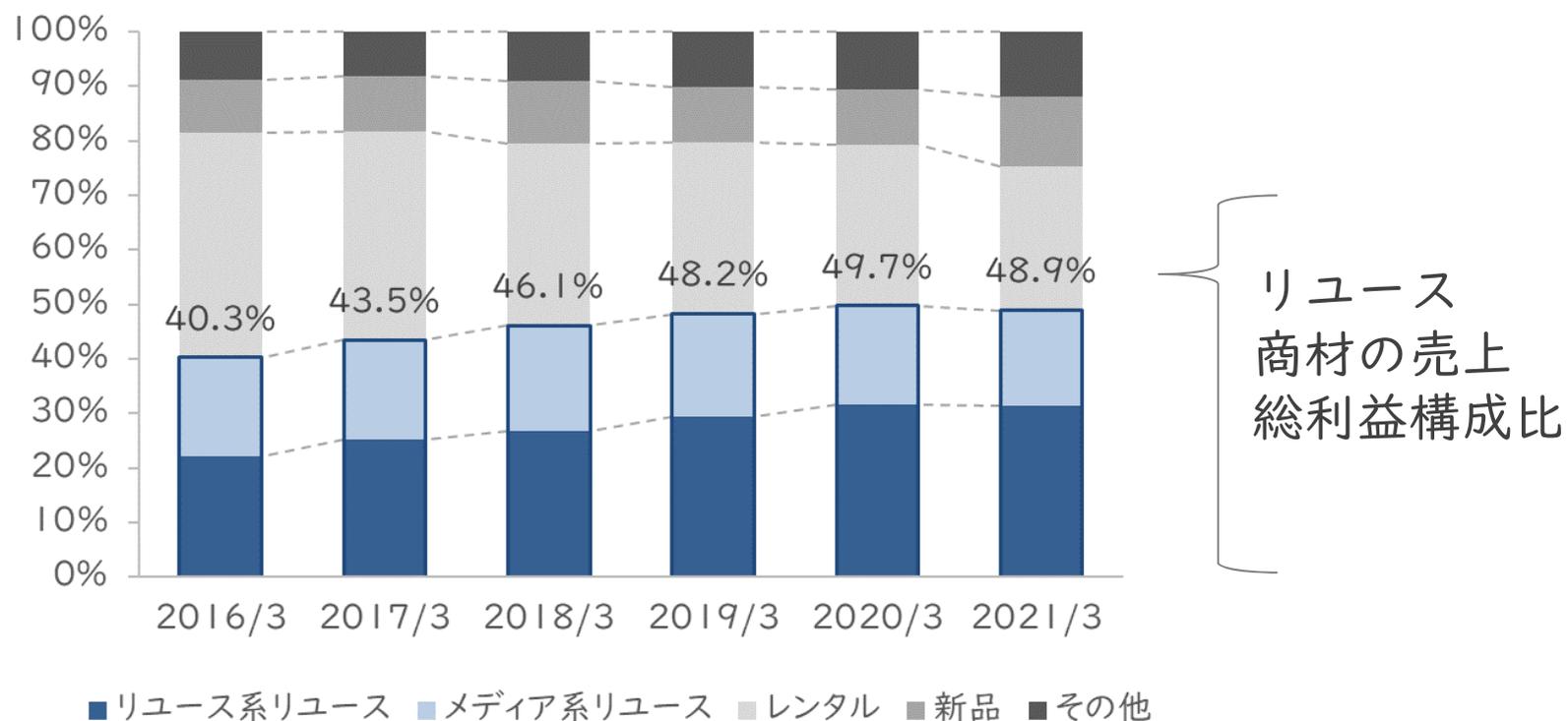
単位：百万円	20.3月期 通期実績	21.3月期 通期実績	前期比	増減額
リユース	61,567	61,277	99.5%	▲289
メディア系	22,354	21,959	98.2%	▲394
リユース系	39,213	39,318	100.3%	104
レンタル	36,443	33,057	90.7%	▲3,385
新品	12,817	15,967	124.6%	3,150
その他	12,972	14,921	115.0%	1,948
合計	123,800	125,223	101.1%	1,423

3

当社グループの売上総利益（構成比）の推移

・ 商材別売上総利益構成比

市場縮小トレンドが継続するレンタルの比率を下げ、セカンドストリートを中心とする新規出店等により、リユース系リユース商材による売上総利益の構成比を高めることを戦略的に進めております。しかしながら当期におきましては、コロナ禍でゲーム関連商材の新品販売が増加し、リユースの店頭販売低迷の結果、リユース商材の売上総利益構成比率が低下いたしました。



ジオグループの取組み

4

ゲオグループ店舗数の状況

・ 総店舗数 1,956店

	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
ゲオグループ店舗施設	1,938	1,956	18
小売サービス店舗	1,925	1,945	20
 ゲオショップ	1,185	1,148	▲37
直営店	1,028	1,001	▲27
代理店・FC店	157	147	▲10
 ゲオモバイルショップ	25	19	▲6
 セカンドストリート	671	726	55
ジャンブルストア※			
直営店	618	674	56
FC店	53	52	▲1
その他	44	52	8
OKURA TOKYO	7	15	8
Luck・Rack	5	10	5
海外店舗	9	16	7
 アミューズメント施設	13	11	▲2

※ スーパーセカンドストリート・ジャンブルストア・セカンドアウトドア・買取専門店等を含む



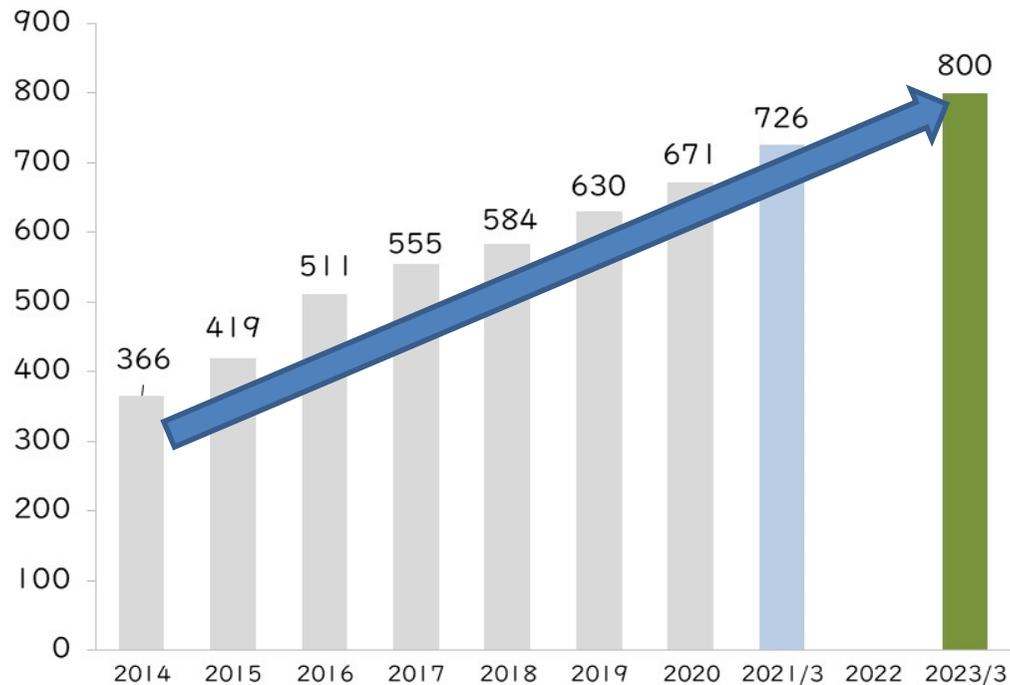
スーパーセカンドストリート柏沼南店（千葉県柏市）

4

リユース市場の深耕①

・セカンドストリートの出店継続

リユースに対する認知向上により、リユース市場の成長は続いております。リユース市場において圧倒的No.1企業となるべく、2023年3月期末までにリユース店800店舗体制を目指しており、新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、国内直営店において56店舗(出店71・退店15)増と積極的な出店を継続することにより顧客とのアクセスポイントを増やし、リユース市場の深耕を続けております。



スーパーセカンドストリート大宮日進店(埼玉県さいたま市)

4

リユース市場の深耕②

・セカンドストリートの海外展開

セカンドストリートの海外展開は、9月に台湾初出店を行ったほか、アメリカ3店舗、マレーシア2店舗、台湾2号店を出店し、期末時点でアメリカ9店舗、マレーシア5店舗、台湾2店舗となりました。各国での新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、今後も海外出店継続と運営の現地化を進めてまいります。



セカンドストリート台北西門店(台湾台北市)



セカンドストリートチェルシー店(アメリカ ニューヨーク)

4

ゲオショップの取り組み

外出自粛、新作タイトルの供給減少の中、「旧作、準新作DVD&ブルーレイのレンタル泊数の延長」・「ハリウッドセレクション」等キャンペーン展開による需要喚起を行いました。

また、売り場商品構成の変更を進めており、イヤホン等のストアブランド商品・4Kテレビ等の導入拡大と拡販を行うとともに、ゲオのインショップとして、商品知識教育を完了した専門スタッフを配置した中古スマートフォン・タブレット・格安SIM等を販売する「ゲオモバイル」の設置を進めました。
(モバイル単独店19店を含め、全都道府県にゲオモバイル合計412店を設置)



アクティブノイズキャンセル
完全ワイヤレスイヤホン



スポーツワイヤレス
イヤホン



4

ITの積極活用とオンラインの強化

当社のサービスのうち、小売サービスにおける電子商取引が関与した売上高は、前期比128.3%と伸長しております。特に新型コロナウイルス環境下での店舗対応としてセカンドストリート店舗からのECサイトへ店舗併売商品の出品を進めた結果、巣ごもり消費の波にも乗れたこともあり、セカンドストリート自社サイトでの売上と販売数は、前期比178.8%と190.2%と大きく伸長しました。

自社サイトの認知向上と物流整備により、お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤の整備に努めてまいります。

	20.3月期 通期実績	21.3月期 通期実績	前期比
EC関与売上高（百万円）	13,315	17,087	128.3%
EC関与販売数（千個）	3,217	3,831	119.1%

4

新規フォーマットの開発



高級時計、ブランドバックなどのラグジュアリーブランドのリユースを行っております「OKURA TOKYO」（おお蔵）は、当期において東京・大阪の繁華街を中心にセカンドストリートとの併設店舗を含め8店舗を出店いたしました。当社グループは国内リユース市場におけるラグジュアリー商材部門でもNo.1を目指してまいります。



Luck·Rack
CLEARANCE MARKET

OPS（オフプライスストア）業態とはメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品全てをいつでもセール価格で提供するフォーマットです。アパレルの余剰在庫問題に注目が集まる中、資源の活用につながる、注目の業態です。OPS業態のトップランナーとして店舗モデルの確立と運営の標準化を進めながらチェーン展開を進めております。



OKURA TOKYO大阪本店&セカンドストリート心齋橋南店
(大阪府中央区)



ラック・ラック 名古屋名鉄百貨店 (愛知県名古屋市)

デジタルコンテンツ事業

当社グループの事業領域は、実店舗におけるサービス・販売の提供が主なものでありましたが、デジタル化が進む中で変化に対応すべく、子会社の(株)エイシス及び(株)forcs（2021年4月1日に(株)ゲオインタラクティブより商号変更）によりデジタルコンテンツ事業を行っております。

(株)エイシスにおいては、二次元コンテンツダウンロードサイト「DLsite」の運営のほか、ゲーム・ボイス・ASMRコンテンツの制作販売も行っております。また、(株)forcsにおいては電子コミック制作および各種コミックサイトへの電子コミック提供を行っております。



DLsite

forcs

『楽しさをシェアする』

「フォークス」は新しいアイデアや物語を生み出し、それを分かち合うために生まれたデジタル生まれの出版社です。



プロモーション「セカストする」

テレビCM、ラジオ時報、webページ等を連動させ、「セカストする」のプロモーション活動を展開いたしました。短期的な買取(仕入)増加効果のほかに、セカンドストリートブランドの認知向上に向けた広告宣伝活動にも注力してまいります。



「内部通報制度認証（自己適合宣言登録制度）」

消費者庁所管の「内部通報制度認証（自己適合宣言登録制度）」の登録を受けました。内部通報制度を積極的に活用したリスク管理などを通じて、安全・安心な商品およびサービスを提供していくことが、企業の社会的責任を果たし、社会経済全体の利益を確保する上でも重要と考えています。

ステークホルダーからの信頼獲得、企業価値の向上および企業の継続的发展につなげてまいります。

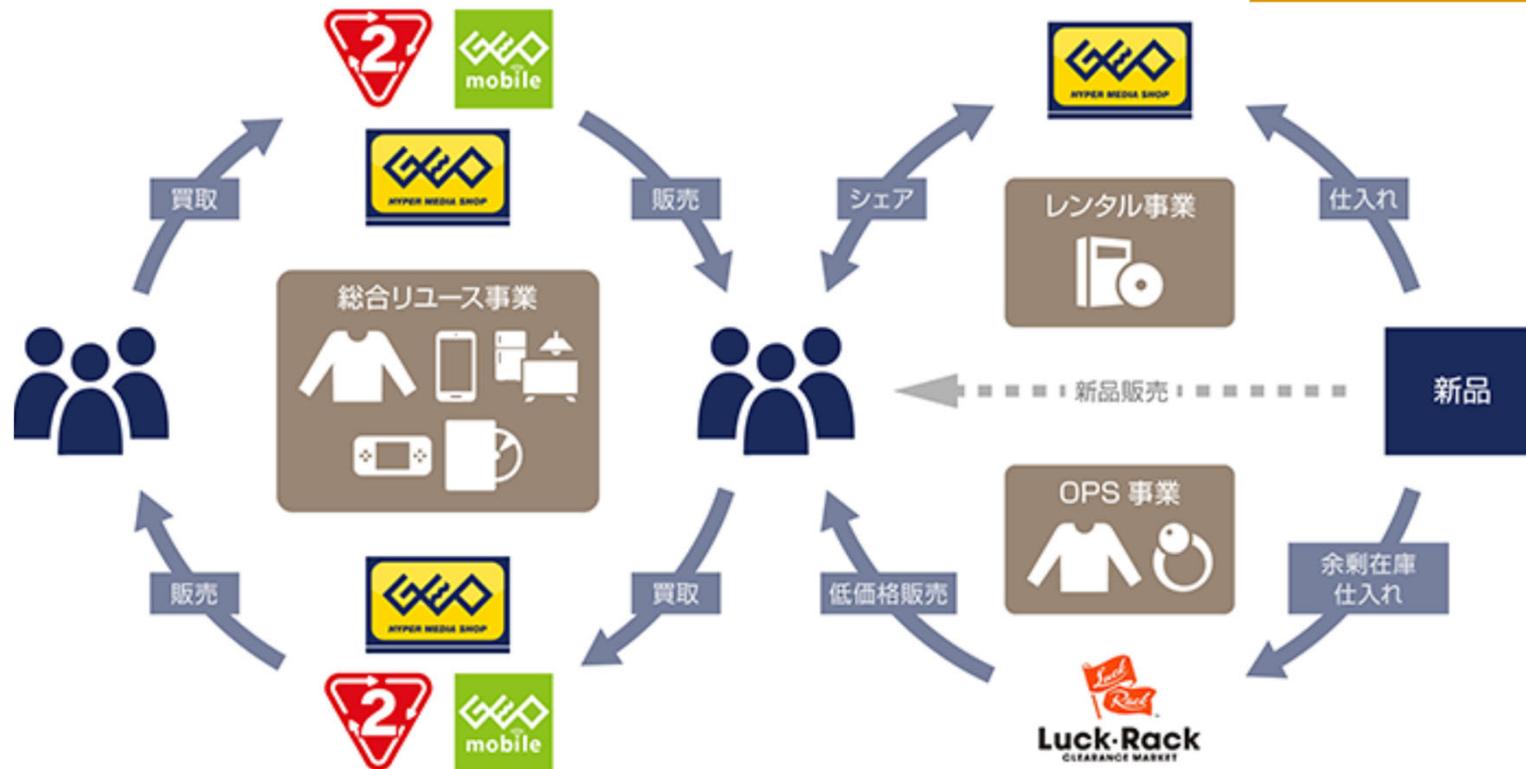


Whistleblowing
Compliance
Management
System

事業成長によるSDGsへの貢献①

”モノ”を不要な場所から必要な場所へ。
 当社は様々な循環型事業を通して、廃棄物の発生を削減し、
 SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に貢献します。

12 つくる責任
つかう責任



事業成長によるSDGsへの貢献②

不要になった物や売れ残った物に新しい価値をつけて次の人へ繋ぐリユースやオフプライスなどの事業を通じ、主要商材だけでも10万トン以上（※1）のCO2削減効果を生み出しています。また、年間約7000万個の商品を循環させています。（2020年実績）



エネルギー効率化によるSDGsへの貢献

- 約1600店舗にLED照明設置を完了。当社の店舗の9割超で、LEDによるCO2削減を進めています。
- 各店舗のレジにタブレット端末を導入し、買取伝票などのペーパーレス化に取り組んでいます。エネルギーの効率化と業務効率化につなげます。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



※1) 環境省『3R行動見える化ツール』および『平成22年度使用済製品等のリユース促進事業研究会報告書』より当社試算

2022年3月期 業績予想・配当

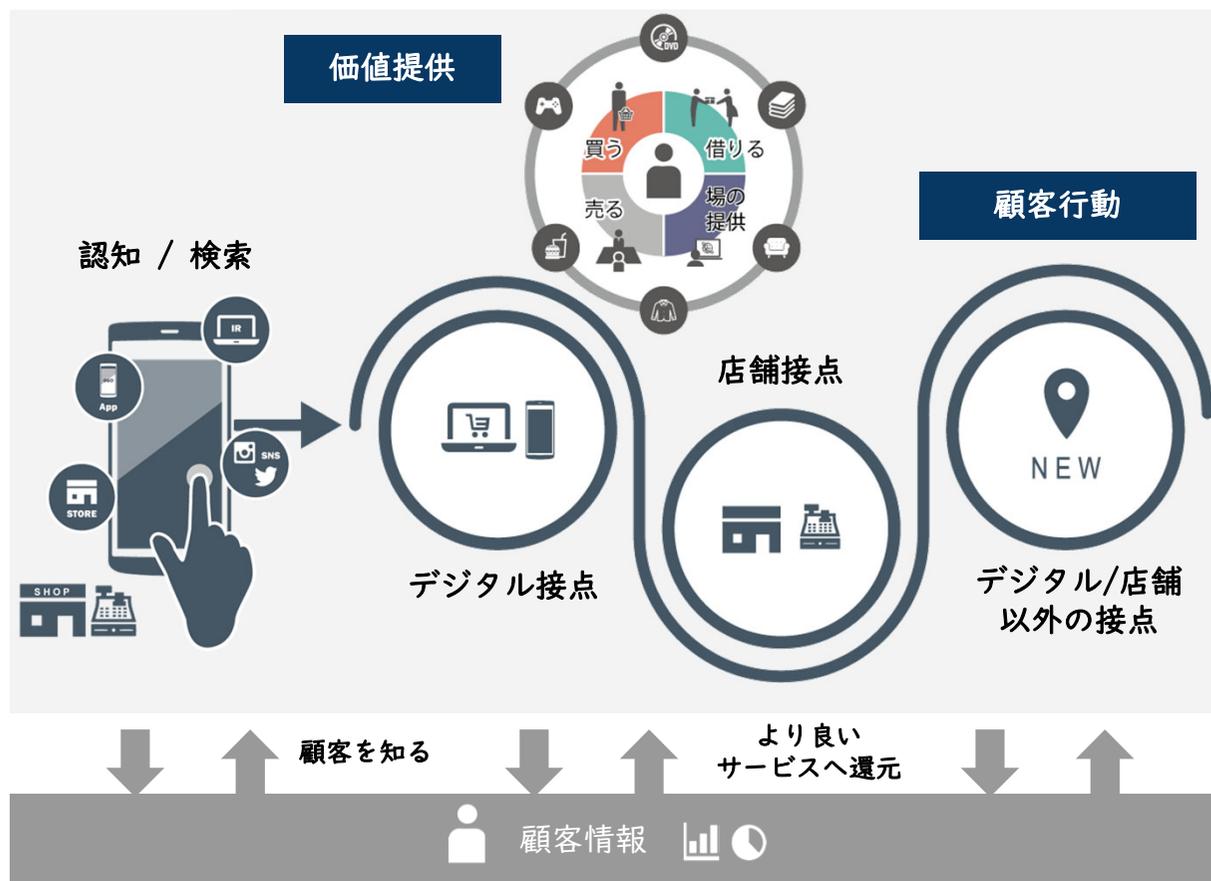
新型コロナウイルスの業績に対する影響については、ワクチン接種が進むことにより消費者の外出自粛が徐々に改善して期末を迎えるものと想定しております。

2023年3月期末までの国内リユース店舗800店舗体制構築に向けて出店を継続し、レンタル市場の収縮に対してはレンタル売場面積の縮小と新規商材の投入による売場改革により対応してまいります。

単位：百万円	22.3月期 通期見通し	増減率	21.3月期 通期実績
売上高	320,000	▲2.5%	328,358
営業利益	4,000	▲7.2%	4,311
経常利益	4,500	▲6.2%	4,795
当期純利益	2,000	—	▲752

ネットワークリテイラーへの挑戦

お客様の消費行動をより理解して、オンラインとオフライン(店舗)の両方で、商品・サービスを自在に選択して利用いただける体制をグループで構築します。



5

出店計画

出店計画		
	店舗数	概要
ゲオショップ 	20店舗	移転・統合出店 既存店リニューアルにより、レンタル売場 圧縮、モバイル店舗併設、リユース家電等 商材追加を進めます
セカンドストリートショップ 	60店舗	2023年3月期 800店舗構想継続
セカンドストリートショップ  海外	24店舗	海外店舗網の拡張と台湾出店開始 北米14、マレーシア3、台湾7
ラックラック 	10店舗	郊外ロードサイドに加え、 駅前立地の商業ビルにも出店

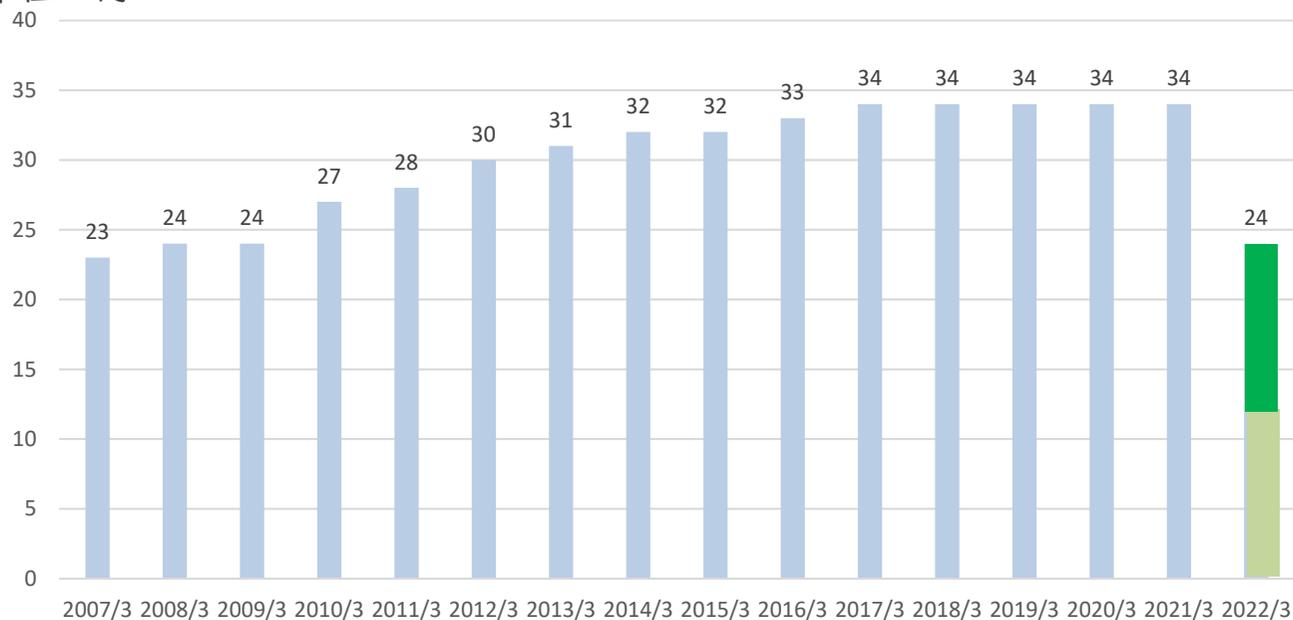
5

配当

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。2022年3月期につきましては、利益水準の低下が継続することを想定するため、誠に遺憾ではございますが年間配当24円への減配を予定しております。

分割調整後の1株当たり配当額推移

単位：円



期末配当
12円
(予定)

中間配当
12円
(予定)

補足資料

6

2021年3月期：連結貸借対照表

	単位：百万円	2020年3月末	構成比	2021年3月末	構成比	増減額
流動資産		89,658	62.0%	113,687	67.0%	24,029
現金及び預金		32,598		51,865		19,267
商品		38,186		42,218		4,032
固定資産		55,044	38.0%	56,050	33.0%	1,006
有形固定資産		29,532		28,177		▲1,355
無形固定資産		1,885		2,349		464
投資その他資産		23,626		25,524		1,898
資産合計		144,702	-	169,738	-	25,036
流動負債		34,233	23.7%	41,038	24.2%	6,805
買掛金		11,039		15,108		4,069
短期借入金		5,000		-		▲5,000
1年以内返済予定の長期借入金		3,737		5,012		1,275
固定負債		35,453	24.5%	55,717	32.8%	20,264
長期借入金		25,956		45,943		19,987
負債合計		69,686	48.2%	96,755	57.0%	27,069
自己株式		▲1,999		-		1,999
純資産合計		75,016	51.8%	72,982	43.0%	▲2,034
負債純資産合計		144,702	-	169,738	-	25,036

6

2021年3月期：連結損益計算書(会計期間)

単位：百万円	20.3月期				21.3月期			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高	63,918	74,130	83,992	83,016	82,860	75,718	84,817	84,961
(前期比)	99.2%	108.8%	99.1%	110.4%	129.6%	102.1%	101.0%	102.3%
売上総利益	29,728	30,236	31,838	31,997	33,230	30,286	31,428	30,278
(前期比)	102.2%	99.6%	98.4%	106.8%	111.8%	100.2%	98.7%	94.6%
(売上総利益率)	46.5%	40.8%	37.9%	38.5%	40.1%	40.0%	37.1%	35.6%
販管費	27,126	28,256	29,320	29,075	29,673	30,219	30,594	30,424
(前期比)	106.9%	105.6%	109.6%	106.8%	109.4%	106.9%	104.3%	104.6%
営業利益	2,602	1,979	2,517	2,923	3,557	66	834	▲145
(前期比)	69.9%	55.0%	44.9%	106.9%	136.7%	3.4%	33.1%	-

6

2021年3月期：連結キャッシュフロー

		2020年	2021年	増減額
		3月31日	3月31日	
単位：百万円				
営業CF	うち減価償却費	4,992	5,289	297
	うちレンタル用資産減価償却費	5,544	4,710	▲834
	うちレンタル用資産取得による支出	▲5,099	▲4,004	1,095
	営業CF 小計	11,271	14,909	3,638
	うち法人税等の支払額又は還付額 (▲は支払)	▲6,026	▲1,859	4,167
営業CF	5,108	12,428	7,320	
投資CF	うち有形固定資産の取得による支出	▲7,014	▲5,783	1,231
	投資CF	▲11,342	▲8,225	3,117
財務CF	うち短期借入金の純増減額(▲は減少)	2,850	▲5,000	▲7,850
	うち長期借入による収入	8,500	25,000	16,500
	うち長期借入金の返済による支出	▲4,610	▲3,737	873
	うち配当金の支払額	▲1,470	▲1,443	27
	うち自己株式の取得による支出	▲1,999	—	1,999
財務CF	3,037	14,683	11,646	
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲3,189	18,909	22,098	
現金及び現金同等物の期末残高	35,666	54,576	18,910	
フリーキャッシュ・フロー（簡易）	▲6,234	4,203	10,437	

6

商材別売上高（会計期間）

単位：百万円	20.3月期 1Q 実績	20.3月期 2Q 実績	20.3月期 3Q 実績	20.3月期 4Q 実績	21.3月期 1Q 実績	21.3月期 2Q 実績	21.3月期 3Q 実績	21.3月期 4Q 実績
リユース	26,530	31,063	31,441	33,281	31,420	29,894	33,850	35,569
メディア系	12,914	14,008	13,679	15,444	15,405	12,242	12,478	13,763
リユース系	13,615	17,055	17,762	17,837	16,014	17,652	21,372	21,806
レンタル	14,784	14,826	13,880	14,472	14,957	13,232	11,366	11,171
新品	13,736	19,094	26,273	25,025	26,502	21,331	28,203	26,865
その他	8,867	9,147	12,399	10,237	9,981	11,258	11,398	11,355
合計	63,918	74,130	83,993	83,015	82,860	75,717	84,818	84,961

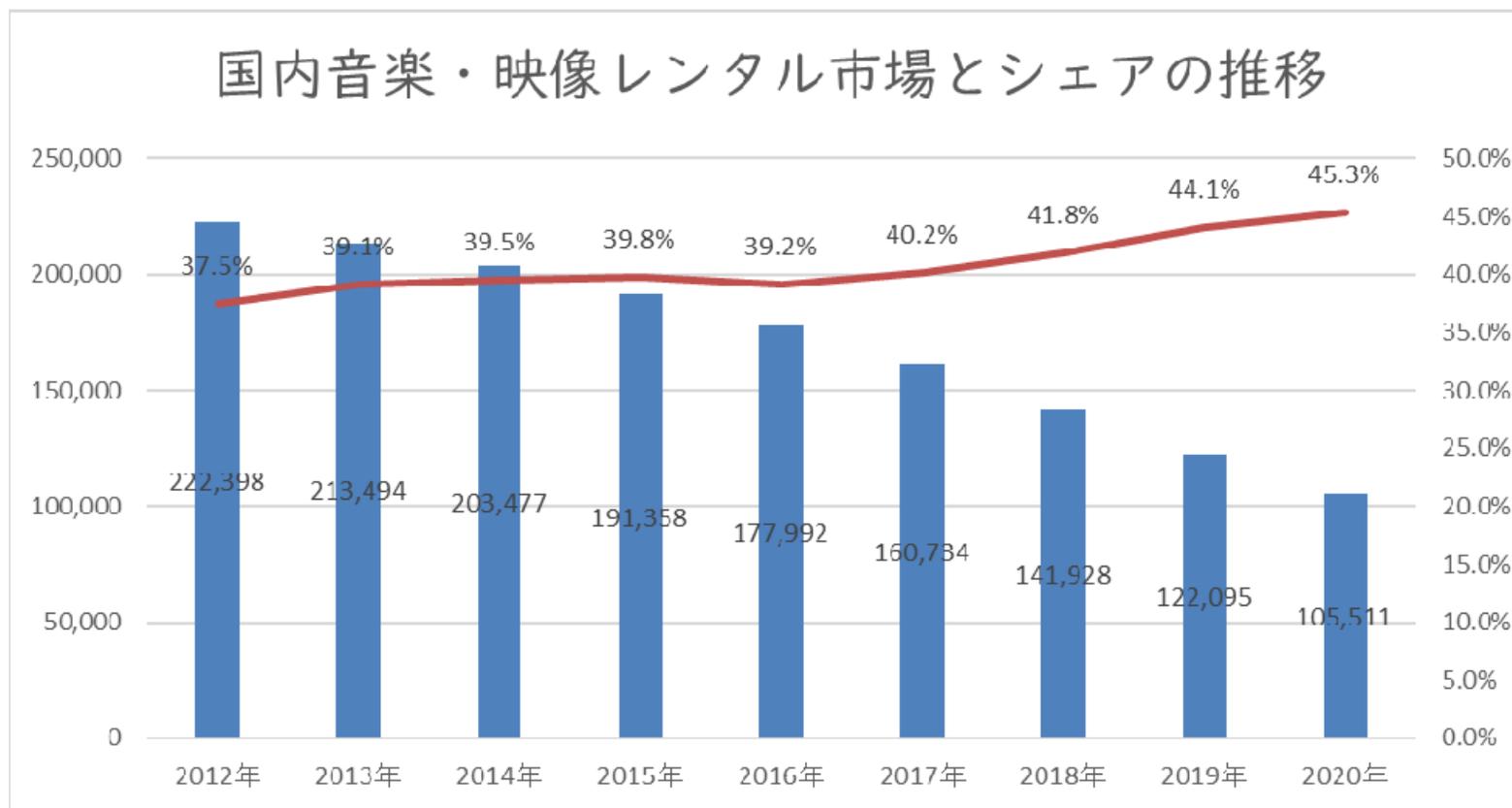
6

商材別売上総利益（会計期間）

単位：百万円	20.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期	21.3月期	21.3月期	21.3月期	21.3月期
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
リユース	14,827	14,958	16,106	15,674	15,820	14,270	16,009	15,175
メディア系	5,427	5,503	5,377	6,044	6,677	5,123	4,949	5,209
リユース系	9,400	9,454	10,729	9,630	9,143	9,147	11,059	9,967
レンタル	9,361	9,333	8,498	9,250	10,021	8,725	7,300	7,010
新品	2,379	2,986	3,634	3,816	4,278	3,469	4,106	4,112
その他	3,160	2,959	1,731	5,125	3,110	3,820	4,011	3,978
合計	29,728	30,236	29,969	33,865	33,230	30,286	31,428	30,278
粗利率	46.5%	40.8%	35.7%	40.8%	40.1%	40.0%	37.1%	35.6%

6

市場動向（レンタル）



(単位:百万円)

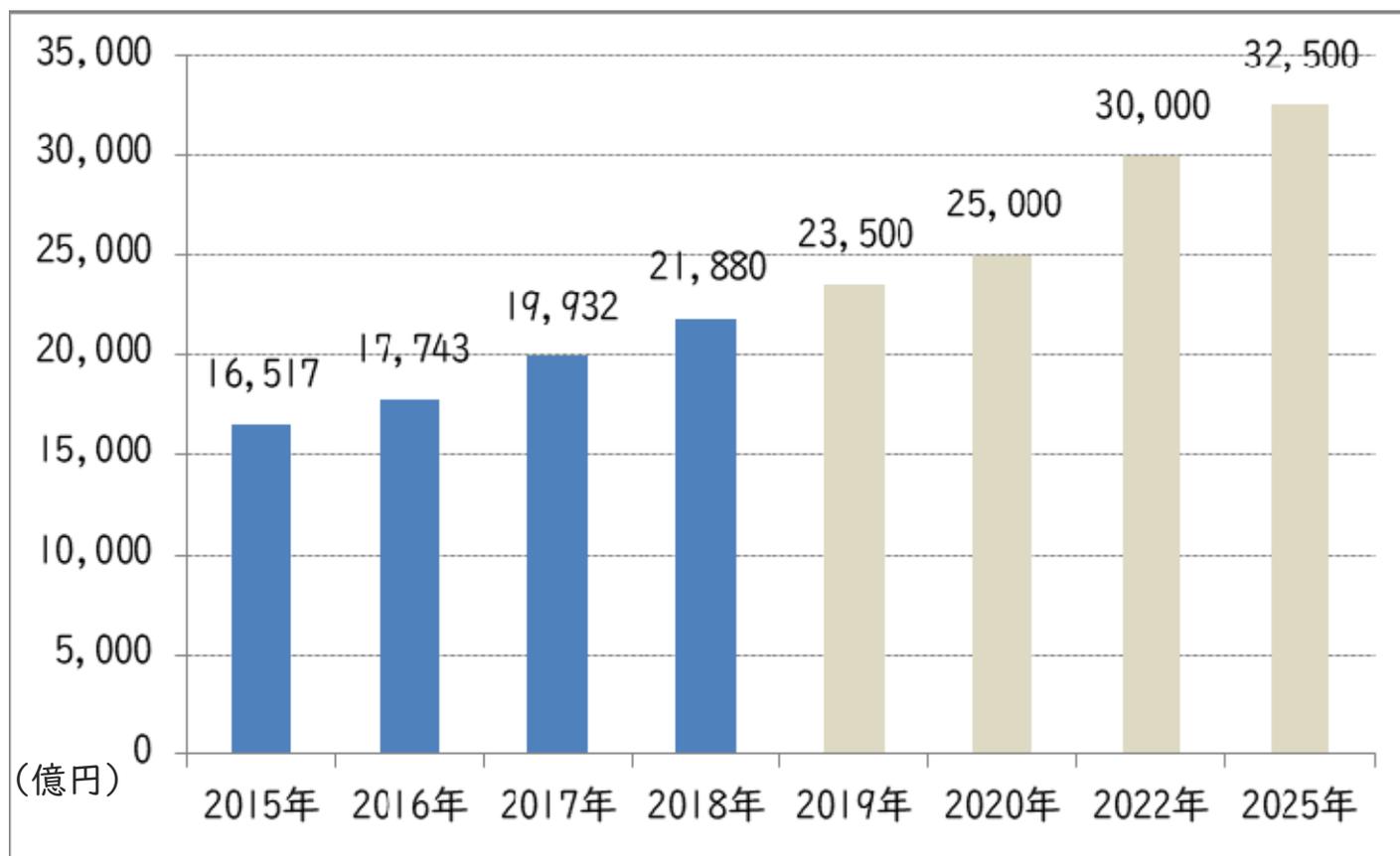
(出典:経済産業省 特定サービス産業動態統計調査)

*特定サービス産業動向調査をもとに当社推計

*宅配レンタル・コミックレンタルは含まれておりません。

6

市場動向(リユース)

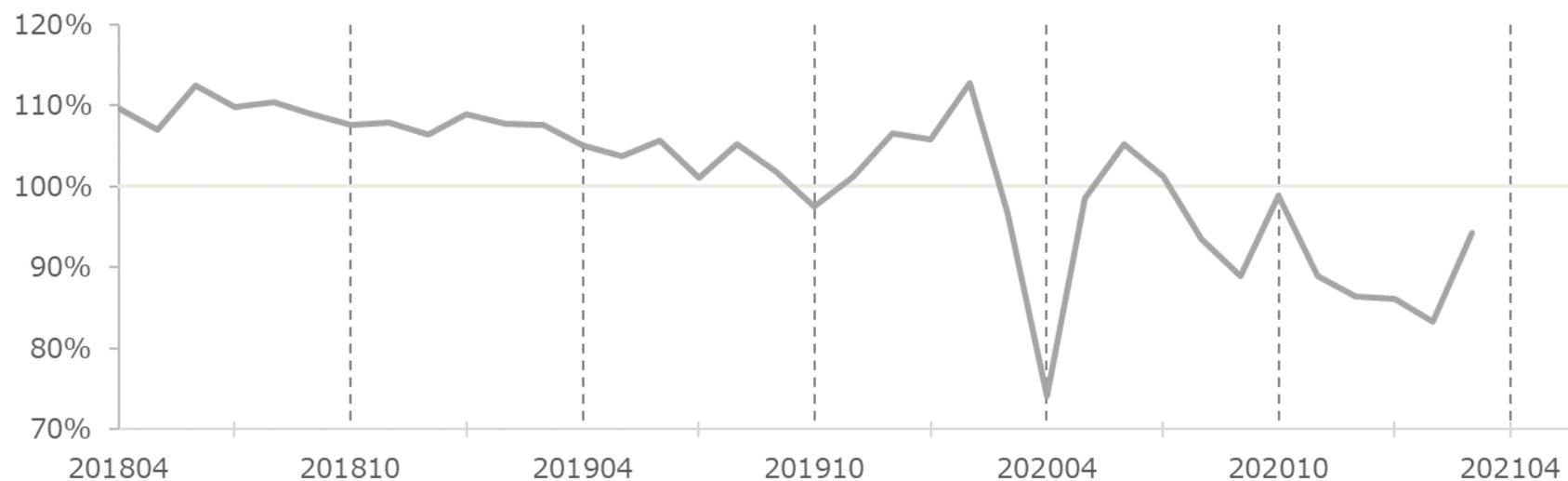


(出典:リサイクル通信「中古市場データブック2020」)

6

セカンドストロートの既存店売上推移

セカンドストリート既存店売上推移



将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経理財務部

T E L : 052-350-5711

Email : info@geonet.co.jp